# 自動車会議所

発行所



**福默日本自動車会議所** Automobile Business Association of Japan

₹105-0012

東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館

電話:03(3578)3880 FAX: 03(3578)3883

URL

https://www.aba-j.or.jp



日本自動車会議所 は普及啓発活動に 取り組んでいます

2020

No.925

発行人 山岡 正博

編集人 田村 里志

## 4月から公式 Facebook、Twitterを開始

#### SNS を活用しクルマ好き拡大/ 日本自動車会議所

本自動車会議所は、4月1日から公式 Facebook、Twitterを開始しました。 ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)を活用することにより、当会議所 の認知度の向上を図るとともに、クルマファ ン・バイクファン拡大に向けて多様な情報を 提供します。

発信するコンテンツは、当会議所の活動や 主催イベントなどのほか、自動車関連データ を使った豆知識、自動車用語のミニ解説、日 本自動車会館だより、自動車関連イベントな どの現地リポート、新着ニュース等々。例え ば、全就労人口の10人に1人が自動車に関わ る仕事をしていることを豆知識として分かり やすく説明したり、1カ月に1回程度開催し ている会員研修会のテーマ・講師の告知、内 容の報告を行ったりします。さらに最近よく 耳にする「CASE」など最新キーワードの ミニ解説なども掲載し、クルマに関わること は何でも取り上げます。

当会議所ホームページの「クルマの情報館」との 相乗効果も図り、クルマと自動車業界の好感度アッ プにつなげていきます。



#### 日本自動車会議所

@abaorip

1946年に設立され、自動車産業に携わる幅広い団体・企業が加入する総合業界 団体で、会員は約170に上ります。クルマ社会の健全な発展に寄与する事業に取 り組んでいます。 Facebook公式アカウントはこちらです →facebook.com/abaorip

- ◎ 東京 港区 S aba-j.or.jp © 誕生年: 1946年
- m 2020年3月からTwitterを利用しています









■次の公式アカウントからアクセスできます。

Facebook https://www.facebook.com/ abaorjp

**Twitter** https://twitter.com/abaorjp

◇ ◇ 主 な 内 容 ◇ ◇ -

.. 2

■ 第206回理事会

■第2回経済·産業委員会開催-

5

(主な記事はホームページ=https://www.aba-j.or.jp=にも掲載しています)

## 第206回理事会 新型コロナウイルス対策のため書面で審議

## 2020年度事業計画、予算など3議案が承認

### 引き続き、税制、交通安全など重点5分野に注力

中 本自動車会議所は第206回理事会の審議事項の書面審議を行い、審議の結果、2020年度事業計画、2020年度予算、評議員委嘱の3議案がいずれも3月25日までに原案どおり承認された。日本国内での新型コロナウイルス感染拡大防止を勘案し、今回の理事会は書面審議による決議で実施された。同様の趣旨から、本理事会への上程議案を審議する第82回運営委員会についても書面審議となり、3月10日までに委員全員一致で承認された。

今事業計画では、「組織運営」「税制」「交通安全」 「保険」「クルマ好き拡大」を引き続き重点項目(分野)として注力し、関係業界の支持・支援の下、諸 活動を展開していく。

代表者変更に伴う評議員委嘱については、全日本 指定自動車教習所協会連合会の片桐裕会長、東京都 自動車会議所の中川雅治会長、岐阜県自動車会議所 の田口隆男会長、日産自動車の田川丈二専務執行役 員・チーフサスティビリティオフィサー、ダイハツ 工業の松林淳代表取締役会長の5氏が新たに評議員 に就任した。

◇2020年度の事業計画の概要は次のとおり。

### 2020年度事業計画

#### 2020年4月1日~2021年3月31日

- Ⅰ. 2020年度事業方針と重点項目
- 1. 環境認識

#### <経済環境>

国内経済は当初緩やかな景気回復が見込まれていたが、新型肺炎等の影響により国内外の経済情勢を 見通すことができない。

#### <国内市場>

国内新車市場は、当初新型モデルの積極的な導入 や「高齢者向けサポカー購入補助」により堅調に推 移すると見られていたが、新型肺炎等の影響により 予断を許さない状況。

<クルマ社会の変革>

CASEを中心にクルマとクルマ社会の変革が加速 し、東京オリ・パラも迎える中、政府・自動車業界 の取り組みに一層注目が高まる。

#### <直近の対応課題>

自動車関係諸税の負担軽減・簡素化、人手不足、 働き方改革、生産性革命、インバウンド拡大など、 自動車業界として対応すべき課題が山積。

#### 2. 事業方針

(1) 果たすべき役割に基づく事業の見直し

国内市場の停滞が続く一方、外部環境の変化は極めて速く、自動車総合団体として果たすべき役割(ビジョン・ミッション) に常に立ち返り、不断に事業や体制を見直していく。

(2) 重点項目への取り組み

引き続き重点項目(分野)を、「組織運営」「税制」 「交通安全」「保険」「クルマ好き拡大」とし、関係 業界の支持・支援の下、諸活動を展開する。

(3) 業界の連携強化

日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する。

#### 3. 重点項目

- 1)組織運営
  - ▶ ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築
- 2) 税制
  - ▶ 消費税引き上げ、自動車税引き下げなどの影響・効果、市場動向フォロー
  - ▶ 負担軽減・簡素化要望の継続、「中長期的な 視点」に関する動向フォロー
- 3) 交通安全
  - ➤ 業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の実施
- 4) 保険

- ▶ 6,000億円繰入金の返済(増額)要望、必要な陳情・理解活動の継続
- 5) クルマ好き拡大
  - ➤ ホームページ活用・SNS立ち上げなどクルマ・イベント情報提供の充実
- Ⅱ. 事業計画のポイント
- 1. 事業活動
- 1) 組織運営
  - ▶ビジョン・ミッションに沿った事業展開と 体制構築
- ■創立75周年(2021年)を一つの契機として、やるべき事業の選択・拡充、組織運営の向上を図る。

やるべき事業分野 2020年度事業 (ミッション) 自動車の保有・利用環境 ・委員会活動における情報共有 継続 向上に向けた政策提言 ・提言力の強化 ・日本自動車会館をベースとし た業界・団体間の連携活動の 自動車業界・団体間交流 継続 促進 ・連携促進 ·会員拡大 自動車の利用促進 ・クルマ・バイク好き拡大事業 ・好感度の向上 拡充 + S N S 立 ち 上 げ 自動車業界の地位 4 ・好感度の向上 ・具体的な事業を提案・精査 上記に優れた実績を 拡充 (75周年との関連付けも検討) 上げた人・組織への 賛称・褒賞

#### 2) 税制

- ▶消費税引き上げ、自動車税引き下げなどの 影響・効果、市場動向フォロー
- ▶負担軽減・簡素化要望の継続、「中長期的 な視点」に関する動向フォロー
- ■税制委員会をベースとした会員団体・企業、経済 産業省、国土交通省などとの連携により、諸活動 を推進する。
- ■自民党自動車議員連盟など与党を中心とした政策

要望活動を展開する。

■税制改革フォーラムなどとともに、自動車ユーザーの負担感・不公平感にさらにフォーカスした世 論喚起を図る。

#### 与党税制改正大綱「検討事項」

自動車関係諸税については、技術革新や保 有から利用への変化等の自動車を取り巻く環 境変化の動向、環境負荷の低減に対する要請 の高まり等を踏まえつつ、国・地方を通じた 財源を安定的に確保していくことを前提に、 その課税のあり方について、中長期的な視点 に立って検討を行う。

#### 3)交通安全

- ▶業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献し うる新規施策の実施
- ■啓発イベント「交通安全。アクション」を軸とした、自動車業 界全体として交通安全問題に取り組む姿勢のPRを継続・強化する。
- ※本年4月4~5日開催予定だった「交通安全。アクション2020 新宿」は新型肺炎の影響で中 止・延期。
- ■会議所活動の機会をとらえ、引き続き高齢者事故・健康起因事故に関する知見深化を図る。
- ■上記の活動も含めて、交通事故対策に貢献しうる 新たな施策を検討し、実施する。

(日本自動車会館も活用)

- 4) 保険
  - ▶6,000億円繰入金の返済(増額)要望、必要な陳情・理解活動の継続
- ■国土交通省とも連携し、「あり方懇」「自賠審」の場をはじめ、「考える会」としてより説得力の高い繰入金の返済(増額)要望の主張を訴える。

- ■これまでのシンポジウム、報道関係者向け説明会 の実績を踏まえ、効果的な世論喚起活動を実施す る。
- ■現在の財務 国交大臣間覚書で「令和4年度(2022年度)まで」とされている繰り戻し期限もにらみ、複数年度にまたがる戦略的な政府・国会議員への陳情活動を行う。
- 5) クルマ好き拡大

▶ホームページ活用・SNS立ち上げなどクルマ・イベント情報提供の充実

- ■ホームページを活用し、「クルマ・バイクのファン拡大」「自動車業界への好感度向上」を目指して、 ニュースや情報を引き続き掲載する。
- ■SNSの「フェイスブック」および「ツイッター」 から独自のニュースも展開し、発信効果を高める。 (本年3月中からトライアル、4月~5月中をめど に正式開始)
- 6) 会員サービス・日本自動車会館関係
- ○会員研修会
- ・年10回開催を計画し、会員から関心の高いCASE 関連、交通安全、経済問題をはじめ、時宜を得た テーマを選定のうえ実施する。
- ○国内施設視察会
- ・参加者から評価の高い試乗会を軸に実施案を検討 し、秋頃をめどに開催する。

#### ○広報

- ・会議所ニュースについて、広報媒体としての効果 を見極めながら、情報の電子化や費用節減などの 観点も踏まえて、発行部数やページ数をはじめ、 そのあり方をさらに見直す。
- ・必要に応じてニュースリリースを発行するととも に、引き続き産業記者会など大手紙・一般紙との 接点拡充を継続する。
- ○出版事業
- ・例年通り「自動車年鑑」(9月予定 日刊自動車新 聞社共編)を発行する。
- ○日本自動車会館運営
- ・地元地域貢献策も含めて、「情報受発信拠点」を 目指す会館のPRにつながる新規施策を継続検討 する。
- ・定例の会館交流会に加えて、パラリンピック種目

でもあるボッチャ大会の実施など交流機会を充実する。

- ○全国自動車会議所連携
- ・定期の全国専務理事会(年2回)、永年勤続者表 彰式(来年3月)を計画通り実施する。
- ・各自動車会議所ホームページ(HP)の拡充なら びに当会議所HPとの相乗効果向上に協働して取 り組む。
- ・会議所未設置県について、地域の自動車業界の取りまとめ役などの状況を調査し、今後の連携のあり方を検討する。

#### 2. 委員会活動

- 1) 運営委員会
- ▶当会議所総会・理事会上程議案について審議・承認を行う。

[開催予定:5月(総会前(書面))、3月(理事 会前)]

- 2) 税制委員会
- ▶当会議所税制改正要望書を取りまとめ、必要な陳情を行う。

[開催・実施予定:9~10月]

▶自民党自動車議連・税制調査会等と連携し、必要 な情報収集・意見交換を行う。

[実施予定:適宜]

- 3) 道路・交通委員会
- ▶政策動向や関連分野の情報を共有し、政策提言の 強化策も検討する。

[開催予定:2~3回/年]

- 4)経済・産業委員会
- ▶政策動向や関連分野の情報を共有し、政策提言の 強化策も検討する。

[開催予定:2~3回/年]

#### お知らせ

5月15日発行予定の『自動車会議所 ニュース』5月号は、新型コロナウイル ス対策に伴うイベントや会議等の縮小・ 延期を踏まえ、6月号との合併号とさせ ていただき、6月15日に発行する予定 です。



中国 本自動車会議所は2月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、2019年度第2回経済・産業委員会(委員長=平井敏文・日本自動車販売協会連合会副会長・専務理事)を開催した。委員会では、まず経済産業省製造産業局自動車課の神田啓史課長補佐が「経済産業省の2020年度自動車関係予算案」と、次世代自動車に関する情報共有のため、「電動車活用社会推進協議会の検討状況」について説明。続いて、日本水素ステーションネットワーク合同会社(以下、JHyM)の菅原英喜社長が「燃料電池自動車普及に向けた水素ステーション整備の加速」と題して講演した。この後、日本自動車工業会東京モーターショー室の鈴木庸弘室長が「東京モーターショー2019」を総括し、委員会は終了した。

#### ■経済産業省の2020年度自動車関係予算案

講師:製造産業局自動車課 神田啓史課長補佐

冒頭、「関係官庁の政策動向に関する情報共有」 として、新型コロナウイルスの影響と政府での対策、 直近の国内新車販売の状況について説明したあと、 今回の議題の説明に入った。

1. 安全運転サポート車(以下、サポカー)補助金 (2019年度補正予算)

池袋と大津の痛ましい交通事故をきっかけとして、昨年6月に「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」が関係閣僚会議で決定した。10月未来投資会議での総理発言「対歩行者の自動ブレーキの装備やペダルの踏み間違い等の加速抑制装置を装

備する車を普及する必要があります。(中略)年末までにサポカーの市場導入を加速化する措置を検討します。」を受けて、経産大臣・国交大臣・国家公安委員長の3省庁に具体的な検討の指示が出た。それを踏まえて12月5日の総合経済対策に65歳以上の高齢者によるサポカー購入等の支援が盛り込まれ閣議決定された。その後2019年度補正予算案が昨年末に閣議決定され、本年1月通常国会で成立した。

65歳以上の高齢者を対象にした背景は、年齢別の 死亡事故率を分析すると、75歳以上から顕著に増加 している一方で、高齢者の自家用車保有年数は平均 10年と長い。75歳以上ではあまり新車を購入されな いことから、最後の一台として購入されるであろう 65歳以上の運転者を対象にすることで、75歳以上の 高齢者の事故を将来的に防ぐことが効果的であるこ とから、65歳以上を対象としたもの。

具体的な内容は「**資料1**」にある通りで、国交省 要求分は外数で事業用の12.5億円。経産省要求分と 合わせると、総額1,139億円に上る。

閣議決定後、経産省には対象車種や申請開始時期など多くの問合せが入っており、世の中の関心の高さを感じる。中古車も購入補助の対象となるのは今回が初めてのこと。新車購入補助の場合は、補助金の実施についての報道が出てから実際の申請受付開始までの間、いわゆる買い控えが起こり、経済的なインパクトが大きい。その対策として対象となる車種の認定は12月23日に速やかに行い、その日以降に登録(届出)された車は、申請受付開始前であって

も購入補助の対象として いる。対象車種は約400 車種で、以降発売された 新型車も追加で審査し認 定することになる。

補正予算の繰り越しに ついてよく聞かれるが、 通例では3月中~下旬に 財務省との事務的な調整 を経て、2020年度への繰 り越しが決まる。

2. クリーンエネルギー 自動車導入事業費補助 金(CEV補助金)

(2019年度補正予算50 億円、2020年度当初予 算130億円<前年度160 億円>)

EV、FCVなどの、い わゆるクリーンエネルギ ー自動車は導入の初期段 階にあり、コストが高い ため普及が進んでいな い。そこで購入費を一部 補助することで、普及を 後押ししていく。2020年 度当初予算が国会で認め られて、(サポカー補助 金同様に) 補正予算が繰 り越しになれば、今年度 より20億円の増額となる。

#### 3. 充電インフラ整備事業費補助金

(2020年度当初予算8.9億円<前年度11億円>)

2016年度から5年間継続している事業で2020年度 が最終年度。「成長戦略フォローアップ」における 2030年までに新車販売に占める次世代自動車の割合 を5~7割とする目標の実現のため、車だけではな く、普及に不可欠な充電インフラの整備をするため の補助金。

#### ■電動車活用社会推進協議会の検討状況

#### 講師:製造産業局自動車課 神田啓史課長補佐

「自動車新時代戦略」の中で掲げられている将来 目指すべき社会像、「低炭素・分散・強靱な自動車・

#### 資料 1 サポカー補助金について【1,126.7億円】

- 高齢運転者の交通安全対策は、政府全体の喫緊の課題。サポカーは高機能であるため価格が高く、そもそも **買替え需要の低い高齢運転者の買替えが進まない**構造。
- このため、65歳以上の高齢者を対象に、①対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制 **装置を搭載する車(サポカー)**や、② **後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入**を支援。

#### ①新車・中古車の購入補助

対象: i) 対歩行者の衝突被害軽減ブレーキ

ii)ペダル踏み間違い急発進抑制装置





#### 支援内容・対象となる性能 i かつ ii を搭載する車両 iのみを搭載する車両

登録車 10万円 6万円 7万円 3万円 中古事 4万円 2万円

#### ②既販車に対する、後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置購入補助

●後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置







●支援内容・対象となる性能

センサー有り 4万円

センサー無し 2万円

#### 資料2 災害時における電動車(EV・PHV・FCV・HV)の活用

- 千葉で発生した停電では、自動車メーカーが被災地に電動車を派遣。避難所での携帯充電や 灯火確保、乳幼児・高齢者などがいる個人宅や老人ホームなどでの給電を実施。電動車ならで はの機動性・静音性・低振動性においても貢献。
- 他方、電動車がどのような電力需要を賄うことができるのか周知が不足していることや、給電ニーズ がある場所の把握が困難であることに加え、非常時に電動車から給電ができることが認識されて いないというそもそもの課題も存在。 → マニュアル作成などの普及啓発





出典:三菱自動車工業株式会社

FCVからの給電:老人ホームでエアコンや小型蓄電池の充電に使用 出典:本田技研工業株式会社



自治体の取組事例

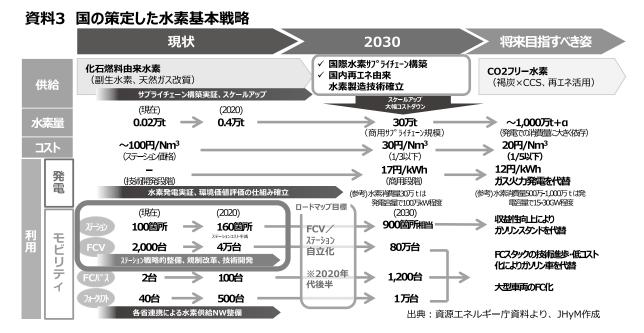
○練馬区や鳥取県では、外部給電が 可能な電動車を所有する者に事前に

登録してもらい、災害による停電時等

BEE-FASTER 出典:練馬区、鳥取県

エネルギー融合社会」実現のため当協議会を立ち上 げ、「電動車活用促進WG」、「車載用電池リユース 促進WG」の2つのワーキンググループを設置。

電動車活用促進WGでは、災害時のEV、FCVな どの電動車のエネルギーインフラとしての価値に着 目。OEMメーカーだけでなく政府・自治体が価値 を認識し、いざという時のためにユーザーに知って もらうことが必要として、取組事例を集めるととも に、マニュアルを作成。積極的に普及啓発に取り組 み、最終的にはアクションプランとして「防災基本 計画」に織り込めるよう関係各社と連携して取り組 んでいる。=資料2参照=



# ■燃料電池自動車普及に向けた水素ステーション整備の加速

#### 講師:JHyM(ジェイハイム)菅原英喜社長

冒頭、「エネルギーと車の歴史」、「CO2削減に向けた国際的な動向」について説明。FCVの魅力については①走行中のCO2排出ゼロ、②水素は地球上に無限に存在し、多様なエネルギーから製造可能、③EVと同様に走りが滑らか、④非常時に電源供給できる、⑤航続距離が長く、ガソリン車並みに走れ、水素の満タン充填も3分程度、などが挙げられる。

2017年12月、国の策定した「水素基本戦略」においては、初期は水素の需要を増やし、2030年頃に国際的な水素のサプライチェーンを構築し、国内で再エネ由来の製造方法を確立。将来的にCO2フリー水素の世界を目指す。水素ステーション(以下、ST)整備の進捗を見ると、2013年~2015年は順調だったが、2016年、2017年に腰折れ。それではいけないということでJHyMを設立。盛り返しを図り、ロードマップのターゲットの「2020年で160カ所」は見えてきた段階。**=資料3参照**=

FCVと水素STの対比で見ると、FCV台数は昨年末3,611台で乗用車2万台弱に1台の割合。1ST当りのFCV台数は70台弱。一方、保有台数6,200万台に対し、ガソリンスタンド(以下、GS)は3万カ所で、1GS当り2,000台の車がついている計算になる。この状況を打開してくれると期待しているのが2020年末に発売予定のトヨタの次期MIRAI。月販目標1,000台なので、3カ月半で現状の倍になる計算で、

光明が見えてくる。

都道府県別の水素ST整備状況では、全国で113カ 所稼働。まだ未整備県が16県ある。2019年度の整備 計画では136カ所までが見えている。海外との比較 では2位がドイツで60カ所、次が米国加州で38カ所 (建設中26を含め64カ所)。日本がトップを走って いる。ただ各国の2030年までの設置目標は高く、ド イツ・中国で1,000カ所と日本の900カ所を抜く。

#### ■東京モーターショー2019振り返り

講師:日本自動車工業会東京MS室 鈴木庸弘室長 総来場者数は130万人で、今回新規来場ターゲットとして力を入れた、子どもや若い人たちに多数 ご来場いただいた。特に14歳以下が11.3%で前回比 176%と大幅増、女性も前回24.1%から29.8%に増加。 公式行事、VIP視察も多数参加いただいた。

分散開催となった青海エリアと有明エリアを繋ぐ 1.5kmの「OPEN ROAD」を無料エリアとして様々なプログラムを実施。来場者のアンケート結果では来場目的となったイベントの中で1位だった。オールインダストリーのコラボで実現した「FUTURE EXPO」は約50万人が来場。子ども向け職業体験型施設「Out of KidZania in TMS2019」は約1万人のお子様が体験。そのほか、e-Motorsportsやドローンショーなども初めての試みとして実施し、好評であった。

メディアの露出ではポジティブな報道が多く、メ ディアやジャーナリストに加え、一般の人のモータ ーショーのイメージアップに大きく貢献した。 

# を 大門ペン 保奈郎

Vol. 45

#### ドライブは地方再生のセンスを磨く

ジャーナリスト 井元 康一郎

クルマで旅をすると、人間の 発想が点から線に変わる。それ を繰り返していると、次第に線 から面、さらに空間へと変わっ

ていく。一人ひとりのイマジネーションは小さいものかもしれないが、その集合体は世界を変えていく力となるだろう。

今、世界は文字通り"100年に一度"の"パンデミック"の真っ只中にある。その中でクローズアップされているもののひとつが一極集中のリスクだ。都市化は世界の流れと言われており、日本はその先頭を走っている。東京23区ひとつとっても、人口密度はどこも1km当たり1万人を軽く超える。人口過密はさまざまな弊害も生むが、それを押して一極集中が進んだのは、ひとえにコスト面で有利ということに他ならない。

だが、ひとたび問題が起きればどうだろう。東京から地方に一時退避しようという人が急増しているが、 過疎化によって衰退が著しい地方には、その人の流れを受け止めるだけのキャパシティがもはやないことが、4月上旬の時点で早くも明らかになりつつある。 都市はどんなに巨大化しても、その本質は面ではなく点だ。都市が独立して発展するのではなく、地方を含めた面での発展を実現させなければ、厄災に対して抵抗性を持つことができないということを、多くの人が



山口の山間部で出会った卵かけごはん食堂。休日は待ち時間 1 時間以上に

嫌というほど実感していることであろう。

もちろん地方創生は困難を極める。が、クルマで全国を旅していると、過疎地にいながらビジネスを非常にうまく回している例を見かける。うまく行っている人の話に共通しているのは、遠く離れた大都市までをカバーするくらいのスケールで、エリアをベースにモノを考えていることだ。

そういったエリア、スペースの把握能力は個人差があるが、自分の意思でルートを選び、旅をすることは、間違いなくその能力を鍛える作用がある。もちろん徒歩でも自転車でもいいのだが、クルマはコスト、平均移動速度、自由度、安全性のバランスが最も良く取れた手段ではなかろうか。

(続く)

#### 日本自動車会議所会員(2020年4月15日現在)=団体会員89、順不同=-

-般社団法人 日本自動車工業会 一般社団法人 日本自動車部品工業会 一般社団法人 日本自動車車体工業会 般社団法人 日本自動車タイヤ協会 -般社団法人 日本自動車販売協会連合会 自動車販売店協会 トヨタ自動車販売店協会 三菱ふそうトラック・バス販売協会 全国スバル自動車販売協会 イハツ自動車販売協国マツダ販売店協 全国マ 숲 エスズキ自動車販売店協会ホンダ自動車販売店協会 般社団法人 全国軽自動車協会連合会 自動車輸入 -般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 -般社団法人 日本自動車機械工具協会 公益社団法人 全日本トラック協会

公益社団法人 全 国 通 運 連 盟 公益社団法人 日 本 バ ス 協 会 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会 一般社団法人 全国自家用自動車協会一般社団法人 日本損害保険協会 一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会 一般社団法人 全国自動車標板協議会 一般財団法人 自動車検査登録情報協会 -般社団法人 全国レンタカー協会 般社団法人 日本自動車リース協会連合会 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 般社団法人 自動車公正取引協議会 全国自動車検査登録印紙売捌人協議会 一般財団法人 関東陸運振興センター 一般社団法人 東京都トラック協会 一般社団法人 神奈川県トラック協会 一般社団法人 神奈川県トラック協会 一般社団法人 日本道路建設業協会 般社団法人 日本ゴム工業会 般社団法人 日本塗料工業会 日本自動車車体整備協同組合連合会 一般社団法人 日本交通科学学会

一般社団法人 日 本 陸 送 協 会 一般社団法人 日本二輪車普及安全協会 一般財団法人 日本自動車研究所 -般社団法人 日本自動車機械器具工業会 特定非営利活動法人 ITS Japan 公益社団法人 自 動 車 技 術 会 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター 一般社団法人 日 本 ガ ス 協 会 一般社団法人 日本自動車運行管理協会 一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 一般社団法人 自動車再資源化協力機構 般社団法人 自動車用品小売業協会 般社団法人 日本オートオークション協議会 日本中古車輸出業協同組合 全国オートバイ協同組合連合会 日 中 投 資 促 進 機 構一般財団法人 日本自動車査定協会一般財団法人 全日本交通安全協会 公益財団法人 日本自動車教育振興財団 日本鉄リサイクル工業会 一般社団法人 全日本自動車部品卸商協同組合 一般社団法人 日本自動車購入協会 一般社団法人 青森県自動車団体連合会

-般社団法人 岩手県自動車会議所 一般社団法人 宮城県自動車会議所一般財団法人 秋田県全自動車協会 山形県自動車団体連合会 一般財団法人 福島県自動車会議所 都自動 一般社団法人 神奈川県自動車会議所 一般社団法人 静岡県自動車会議所 -般社団法人 愛知県自動車会議所 -般社団法人 岐阜県自動車会議所 三重県自動車会議所 般社団法人 般社団法人 富山県自動車会議所 般社団法人 石川県自動車会議所 -般社団法人 福井県自動車会議所 般社団法人 大阪自動車会議所般社団法人 徳島県自動車会議所 -般社団法人 香川県自動車会議所 自自 議所 媛県 動 車 会 知 県 動 車会 -般財団法人 大分県自動車会議所

(ほかに企業会員78、推薦会員6)